

## 11. 知的障がいを持つ人の余暇活動の支援

グループ名 知的障がいを持つ人の余暇活動をサポートする会  
代表者名 西川 正人

### ① 活動の目的

- ・地域の知的障がい・発達障がいを持つ人の余暇活動を支援する。
- ・地域の知的障がい・発達障がいを持つ人と地域の人との交流を深める。
- ・知的障がい・発達障がいに対する理解を深める講演会・学習会をする。

### ② 活動の概要

\*24年11月20日 ハイキング

参加者 13人

障がいがある子どもたちに生活上の困難があるように、彼ら、彼女らの兄弟姉妹にも特有の悩みがある。兄弟たちの障がいで揶揄されたり、親がかまってくれないとか。

この日は、1日、兄弟姉妹のみでハイキングや小川で魚つかみなどをして楽しんだ。



\*24年12月2日 地域との餅つき大会

参加者 156人

地域での障がい者や家族が孤立しないことが大事だと考えている。この行事は2年目になるが、今回は160名近い人が集まり、音楽鑑賞やチンドン屋さんのアトラクションも交え、餅をつきぜんざいを食べて楽しく過ごした。



\*24年12月16日 京都水族館及びトロコ列車乗車体験 参加者 35人

新しくできた京都水族館。イルカショーを見たり、魚類の触れたりをし、嵯峨野トロコ列車に乗車した。自閉症の子どもは電車の好きな子が多く、大変楽しそうだった。



\*25年2月23日（参加者 58人）、3月2日（参加者 58人）、4月2日（参加者 66人） 自閉症療育講演会

2月23日、3人の障がい児の母である、笹森理絵さんを迎え災害時における障害児（者）の避難のあり方について話を聞いた。また、3月2日は知的障がい・発達障がいのある人の裁判のあり方について話を聞いた。4月7日は世界発達障がい啓発週間の記念講演として東田直樹・美紀子親子を招き自閉症の直樹氏が自閉症の自分が何を何をどう感じているのかについて文字盤を使って話してくれた。



\*24年6月23日 蛍鑑賞会 参加者 19人

丹波篠山での蛍鑑賞会では飛んでいる蛍を手にとったり、帽子で掴んだり、みんな楽しく過ごしました。



\*25年6月15日 伊丹空港及び神戸海洋博物館見学 参加者 25人

伊丹空港近くの公園で飛行機の離発着を見、参加者は大はしゃぎでした。帰りに神戸海洋博物館内のカワサキ・ワールドに行き新幹線の車両やオートバイに乗り、楽しみました。



③ 決算報告書

収入 大同生命厚生事業団助成金	100,000
支出	
・ 京都水族館及びトロッコ列車乗車バス借り上げ	113,170
・ 講演会講師謝金（3人分）	
・ 講師宿泊費	113,000
・ 会議室使用料	9,200
	8,500
合 計	243,870